

令和3年度コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

熊本県体操協会

1 大会の参加規程

(1) 所属選手（マネージャーを含む）の参加は、同意書を提出した者に限る。

2 感染防止対策規定

(1) 司祭者の責任において、下記の感染防止対策を講じる。

ア 大会当日までに37.5℃以上の発熱が3・4日続いた日があったり極度の咳・・倦怠感などの症状があったものについて大会参加の及び大会会場への来場を断る。

イ すべての関係者（役員・審判員・補助員・顧問・所属選手）に事前の健康監察及び検温を実施させ、37.5℃以上の発熱者や体調不良者への大会参加及び大会会場への来場を断る。

ウ すべての来場者に、マスクを着用させ、こまめな手洗い・手消毒・うがいなどを励行させる。また、消毒液を会場入り口に設置する。

エ 役員及び補助員は必要最小限の人数で業務を行う。

オ 放送室、記録室が密室、密集にならないよう工夫（人数を減らす・風通しをよくするなど）し、工夫できない場合は、アナウンスなど行わない。

カ 大会で使用する施設や用具については、適宜消毒を行う。

キ 会場内（トイレなど）に感染防止のための表示を行う。

ク 報道関係者に取材者数のを最小限の人数で行うよう要請する。

ケ ごみの処理での感染防止するためにごみ箱の設置せず、すべてごみを各自の責任で持ち帰らせる。

コ 体操競技・新体操競技・トランポリンの特性に応じた対策については、日本体操協会が示す内容を尊重する。

(2) 顧問の責任において、下記の感染防止対策を講じる。【参加校対策】

ア 顧問・所属選手は、大会当日、検温を含めた健康観察を行い、検温確認表を主催者に提出する。なお、顧問は大会実施中の参加選手の体調管理に努める。

イ 検温の結果、37.5℃以上の熱または体調不良で（発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）の所属選手がいた場合は、当該選手の大会参加及び大会会場への来場を自粛させる。

ウ 全ての所属選手に移動中など、アップや試合中以外の時間はマスクを着用させ、こまめな手洗い、手消毒・うがいなどの励行させる。

エ ミーティングなど密集にならないよう配慮し、短時間で済ませる。

オ 水分補給は、各自で準備するなどして、コップを共用しての飲み回しなど行わないようにする。

カ 主催者より所属選手及び保護者の応援が許可された場合は、入場者名簿を提出の上、間隔を2m以上とって観戦するよう指導する。また、大声を出さないようにし、拍手での応援を基本とする。

キ 車等での移動は、過密乗車にならないように運行計画を工夫する事。

(3)主催者の責任位において、下記の対策を講じる。【大会.大学.報道関係者の対策】

ア 来場した大会関係者、報道関係者は、会場入り口で観戦防止チェック及び入場者名簿への記名を行う。また、必ず検温をし、37、5°C以上の場合は入場を断る。

イ 取材は、大会会場外の指定の場所を基本とし、報道関係者とチーム関係者は2m以上離れることとする。

3 関係者から感染者又は濃厚接触者が発生した場合の規定

- 1 大会前及び開催期間中に関係者(役員・審判・補助員・顧問・選手)から感染者又は濃厚接触者が発生した場合、大会の実施を再検討し、場合によっては、大会実施を見送る。
- 2 大会前及び開催期間中に顧問や所属選手から感染者又は濃厚接触者が発生した場合、所属長は大会の参加を再検討し、場合によっては大会の参加を見送る。